

ニーズの概要

点滴抜針時、針先から輸液や血液が垂れない留置針

現状の課題

点滴抜針時、安全機能付きの翼状針などは、針先をしまいながら抜けるので液だれや血液だれがありません。

ですが留置針はそれがないため、どれだけ気を付けていても、針先から液だれ、血液だれしてしまうことがあり、リネンを汚染することを経験します。

個人的には固定に使用していた剥がしたフィルム剤を手の届く位置においておき、抜針後細心の注意を払いながら、そのフィルムですぐに針先を覆うなど工夫していますが、もっとストレスのない抜針ができると良いと思います。

ニーズ

抜針時に、針先から液だれ、血液だれしない留置針があると便利です。